



NAMHAE HEALING TRAVEL

ここ、南海で休止符を打つ。

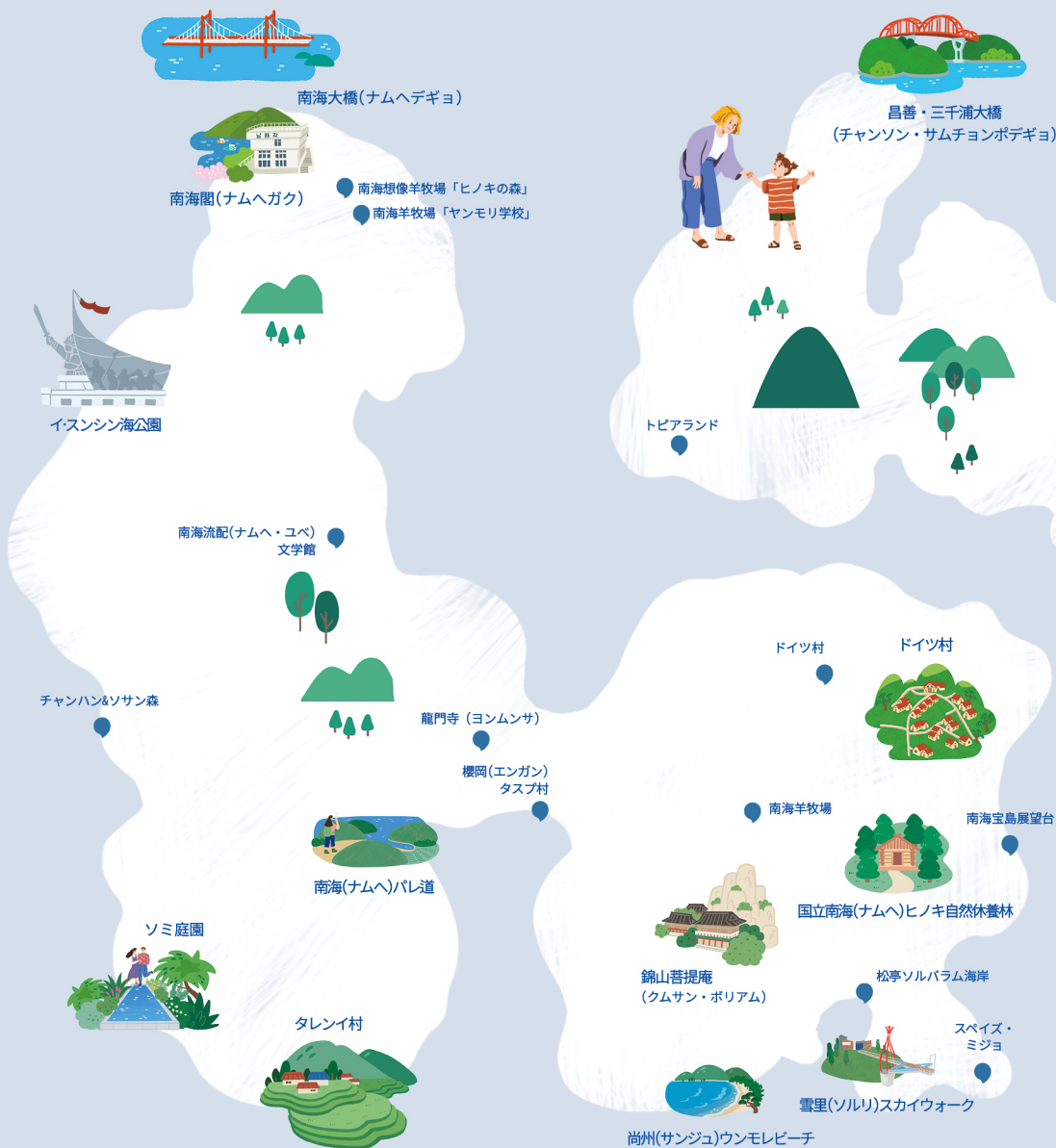
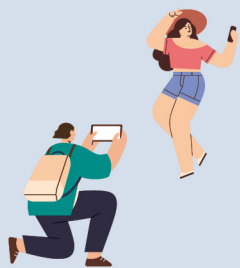
今ここに、愛 南海#



2024

今ここに、愛 南海#

- 南海への関門 4
- ドイツ村 5
- イスンシン海公園 6
- 錦山菩提庵(クムサン・ボリアム) 7
- タレンイ村 8
- サリースカイウオーク 9
- サンジュ銀砂ビーチ 10
- 国立南海ヒノキ自然休養林 11
- ソミイ庭園 12
- 南海閣 13
- 南海パレギル 14
- その他の観光スポット 15
- 南海(ナムヘ)の祭り 18
- 南海に来る道 19



宝島、南海(ナムヘ)

南海郡は韓半島南海沿岸の中央に位置した南海島と昌善島の二つの大きな島をはじめとする有人島5個と無人島73個で構成されており、人口は4万人余りだ。

本島である南海島は、済州島(チェジュド)、巨濟島(コジエド)、珍島(チンド)、江華島(カンファド)に続いて韓国で5番目に大きな島です。

冬は暖かく夏は涼しいという気候は旅行に最適で、海に散りばめられた島々、大小さまざまな山、美しい海岸線など風光明媚な自然景観が広がり、興味深い物語が伝わる魅力あふれる観光名所が宝物のように存在していて、「宝島、南海」とも呼ばれています。



南海への関門 ようこそ



1 南海大橋&ノリャン大橋:

1973年に開通した南海大橋は、国内初の吊り橋で、陸地と断絶していた南海道を初めてつなぐ橋梁であり、韓国で最も美しい橋と言われている。鷺梁(ノリャン)大橋は南海大橋に代わる橋梁として2018年に開通した。世界で初めて傾斜主塔と3次元ケーブル方式の先端技術が適用された。



2 昌善-三千浦大橋

総延長3.4kmに及ぶ昌善-三千浦大橋は韓国で初めて島と島を結ぶ橋梁だ。南海昌善島と三千浦の間の3つの島をつなぐ5つの橋梁が橋博物館を彷彿とさせる壮観を演出する。

3 南海-麗水間海底トンネル(予定)

2031年開通予定の南海-麗水間海底トンネルを通じて南海は嶺湖南をつなぐ交通ハブであり、南海岸観光のプラットフォームになるだろう。



韓国観光
100選に選定

1

パスポートなしでも楽しめるドイツへの旅

ドイツ村



ドイツ村は過去、ドイツで熱心に働き、国家経済発展に大きな貢献をした同胞たちが老後に帰国後に定着したところだ。実際にドイツに住んでいた村を再現することを目標に「韓国の中の小さなドイツ」を作り出した。2003年の完工以後、ドイツ村の白い壁とオレンジ色の屋根は南海を象徴する風景になり、海が見える風景によく整えられた庭園とドイツ式食堂、ドイツビール屋、ドイツ工房などが異国的な感じを加えてくれる。毎年10月頃、ドイツ村の広場で開かれるドイツ村ビール祭りは、全国でも指折りの祭りだ。南海パドック展示館ではパドック鉞夫・看護師の暮らしの痕跡を感じることができる。

一緒に
訪れた
い場所

園芸芸術村



園芸芸術村は20人余りの園芸人が集まって成し遂げた村で、美しく個性的な21カ所の住宅と庭園が国別イメージとテーマを生かして造成され、家ごとに個性あふれる園芸作品を見ることができる。彫刻庭園、トピアリー庭園など世界の多様な庭園を鑑賞しながらゆっくりと散歩する時間を持つことができる。



2

我が死を敵に知らせるな！ イ・スンシン海公園



イ・スンシン将軍の最後の絶叫が飛び交う場所、イ・スンシン海公園は露梁海戦で殉国したイ・スンシン軍と水軍を称えるために建設された。史跡232号に指定された南海観音浦の李忠武公遺跡の他にも、李舜臣映像館、護国広場、観音浦広場などがあり、歴史に関心が高い人なら一度は立ち寄らなければならない聖地であり、歴史の現場だ。余裕が感じられる大きな広場や噴水台などを備えており、子供たちを連れて気軽に散歩するにも良い。イ・スンシン映像館では壬辰倭乱に関する様々な展示と露梁海戦に関する立体映像を観覧でき、リーダーシップ体験館では弓術や投壺などの伝統民俗遊びも楽しめる。

一緒に訪れたい場所

南海流配(ナムヘ・ユベ)文学館



韓国初で最大規模の流刑をテーマにした文学館で、流刑や流刑文学に関する情報を学ぶことができます。朝鮮時代の流刑地だった南海の文化や歴史に関する資料が展示されています。テーマ展示館では、流刑文学に関する理解を深める体験展示や学習プログラムなどが行われています。

3

ここでしか見られない荘厳な日の出 錦山菩提庵(クムサン・ボリアム)



さまざまな伝説が伝わる奇岩怪石が金剛山(クムガンサン)に似ていることから、小金剛(ソグムガン)または南海金剛(ナムヘグムガン)とも呼ばれています。高麗時代後期に太祖(テジョ)李成桂(イ・ソンゲ)がここ錦山で100日間祈りを捧げた後、朝鮮を建国したと伝えられています。また、新羅時代に元暁(ウォンヒョ)大師が建立したとされる菩提庵(ボリアム)は、奇岩絶壁が連なる錦山の霊峰に佇んでいて、韓国の三大観音祈祷道場の一つとして知られています。菩提庵の観音菩薩に願い事をすれば、一つ必ず叶うと言われていました。韓国一の日の出スポットですが、錦山から日の出を見るためには3年間の修行が必要だとも言われていて、天候には細心の注意を払う必要があります。

一緒に訪れたい場所

龍門寺(ヨンムンサ)



いつ行ってもいいが、アジサイが咲く季節、龍門寺はとても美しい。海拔650mの虎口山の麓に位置した南海で最も大きく、古い寺院であり、最も多くの文化財を保有した寺だ。心身ともに疲れた人々のために休息型テンブルステイプログラムを運営している。

4

CNNに選ばれた韓国で訪れるべき場所、第3位

タレンイ村



青い海に面した山の斜面を築いた狭くて長い階段型の タレンイ田(名簿第15号)がある村で、島特有の趣を感じさせ、また別の自慢の岩水岩がある。まるでペルーの高山地帯の姿を連想させるタレンイ村の絵のような風景は、実は痛みから出発した。傾斜が激しく田んぼを耕すことができず、斜面に石垣を積み108階を越える棚田を作り出したのだ。傾斜した道に沿って村を下ると、ごんまりとした建物の間に曲がりくねった路地が続き、海水がゆらゆらする海岸沿いの遊歩道がある。



一緒に訪れたい場所

チャンハン&ソサン森



一見特別だったり華やかではないが、海辺の村の森は村の人たちの憩いの場であり、風と波を防ぐ方品林の役割をする大切なところだ。村の森と海を風景にしてホットプレイスになった長項森と西上森には多彩な魅力の商店ができ、きれいな写真を残せるホットプレイスとして口コミが広がっている。

5

海の上を歩く！

サリー・スカイウォーク



多島海の魅力が感じられる展望台で、ソルリ海水浴場の裏の丘で雄大な姿を誇っている。展望台自体の形と規模が途方もなく、遠くの尚州側からも目につくほどだ。別名「空ブランコ」と呼ばれるスカイウォークブランコは高さ38mで、世界人が愛する休養地であるインドネシア・バリ島の名物、「バリ島のブランコ」をモチーフに製作され、空と触れ合い、足下には海にどぶんと落ちるような極強のくらっとする。夜間はスカイウォーク全体で景観照明を鑑賞することができ、美しい展望台のどこでも素敵な日没の写真を残することができる。人気ドラマ「女神降臨」のロケ地として有名だ。

一緒に訪れたい場所

南海宝島展望台



韓国の最南端、南海(ナムヘ)を美しく照らす灯台をモチーフにした建築物で、展望台の内部からは超豪華クルーズ船から眺めているような360度のパノラマ展望を楽しむことができます。ガラス張りの「空の道」を歩いたり、絶壁の上から風光明媚な南海の海を一望することができます。

6

きめの細かい銀色の砂浜に思い出を残す。

サンジュ銀砂ビーチ



目の前に広がる小さな島々は海を湖の形で包み込んでおり、波が穏やかで水温も暖かく、子供連れの家族連れの避暑地として一品だ。銀粉のように明るく輝く砂浜は絹のような柔らかい感触を感じさせ、海水は砂粒を押し量ることができるほどきれいだ。絹のような砂は裸足で歩く時、足の指の間を流れてくすぐる。海辺の裏側には鬱蒼とした松林があり、風情を添える。森の裏にキャンプ場があり、グルメや多様な魅力のカフェも並んでいるため、家族だけでなく友人や恋人たちにも人気満点の海辺だ。

一緒に訪れたい場所

松亭ソルバラム海岸



南海で2番目に大きな海水浴場で、岩で構成された海岸線と100年以上経った海松が周辺に位置している。水が澄んでいて小麦粉のような白い砂浜が自慢だ。海辺の額縁フォトゾーンで面白い写真を残したりサーフィンを楽しむことができる。キャンプ場は利用当日の現場予約のみ可能だ。

7

癒しのひとときをお過ごしください。

国立南海ヒノキ自然休養林



島の中の陸地と呼ばれる三東面内山村に位置するヒノキ自然休養林は、1960年代に造林されたフィトンチッドいっぱいのヒノキと杉が鬱蒼とした森を成しているところだ。ぎっしり詰まった林道を歩くだけでも心が癒される休息と癒しを楽しむのに最適な場所だ。自然の中で休める宿泊施設とキャンプ場施設が備わっており、森の解説と多様な体験プログラムが予約制で運営されている。

一緒に訪れたい場所

南海羊牧場



真っ白い羊の群れと幸せな時間を過ごすことができる場所です。羊に餌をやりながら触れることができ、羊たちを守る凛々しい姿の牧羊犬にも会えます。広々とした草原を駆け回る羊の群れにも出会える散策路や涼しい風が吹く渓谷では、のんびりとした時間を過ごすことができます。近くには、南海想像羊牧場「ヒノキの森」や南海羊牧場「ヤンモリ学校」もあります。



8

人生に残る一枚を撮る。

ソムイ庭園



南海の独特で美しい階段の棚田に木と花を植えて造成したヨーロッパ式庭園で、慶南民間庭園第1号に登録されたところだ。石垣や池、木や花はフランスの小さな村に来たような気分にならせる。階ごとに異なる景観と青い南海の海が見える異色の風景のおかげで、私だけが知りたいほど魅力的なところだ。9つの小さな庭園が部屋概念に分割され、各部屋ごとに個性的な姿をしており、時にはお互いに調和して変わった情景を見せてくれる。四季折々に咲き乱れる花と小道がとても美しい。カメラフレームが向かうどんなところでも人生ショットになる。



一緒に訪れたい場所

トピアランド



全国初で唯一のトピアリー庭園である「トピアランド」は木に様々な形状を自由自在に表現した、木の存在自体でヒーリングモーメントを抱かせる完全な緑の森だ。慶南民間庭園第3号に登録され、500株余りが群落を成したヒノキのトゥルレキルを歩くことができ、足浴を楽しみながら南海の知足沖合を見下ろす風景もまた一品だ。

9

南海旅行の始まりと終わり

南海閣



1975年に建てられた南海閣は44年間、南海大橋を見に来る観光客を迎える宿泊施設であり休憩空間だった。韓国初の吊り橋を展望できる名所で、新婚旅行地と修学旅行地として脚光を浴びたが、時間が経ってその使い道を失ったが、2021年に地域の話を発表し、旅行者が南海をスケッチできる文化空間として再び開かれた。南海閣は南海大橋と南海閣の歴史を知ることができるのは、アーカイブ展示館、特別な観光記念品と特典を体験できる観光プラットフォーム、日常の休息を提供する海の図書館で構成されており、南海旅行の始まりと終わりにときめきを提供する。

一緒に訪れたい場所

スเปイズ・ミジヨ



昔のミジヨ港冷凍倉庫を複合文化空間として再生した。南海とミジヨ地域の資源を活用した飲食、食べ物を楽しむことができ、会場ではミジヨ港の海を背景に音楽会の講演などが観覧できる。

10

「母の道」南海パレギル251km

南海パレギル



500年前から「花畑」と呼ばれていた美しい宝島南海。南海パレギルは南海が持つ天恵の自然環境と人々を両足で歩いて完璧に会うウォーキング旅行道で、2024年2月基準、総距離251kmで本線16個、支線4個、島支線2個、村のテーマパレギル2個のコースがある。本選コースは島全体を連結する循環型縦走道であり、支線コースと村テーマパレ道は原点帰帰が可能な短距離循環型ウォーキング旅行道だ。「パレ」という言葉は南海の母親たちが家族の食べ物を用意するために海水が抜ける潮時に合わせて干潟に出て海産物を直接採取する作業を称する土俗語だ。

一緒に訪れた場所

櫻岡(エンガン)タスプ村



櫻岡湾は、南海(ナムヘ)の2つの湾のうち南に開いている湾で、可愛い発音の「エンガン」という地名は、その形が横に倒れている壺に似ていることから名付けられたとも、川のように静かな海の音がコウライウグイスの鳴き声に似ていることから名付けられたとも言われています。宝石のような森と青い海が出会う宝物のような村。特に、薪田(シンジョン)森野花観光団地は、きれいな自然環境と風光明媚な景観が観光客を惹きつけています。



その他の観光スポット



南海勿巾里(ナムヘ・ムルゴンリ) 防潮魚付林

約2千本の木からなる緑豊かな防風林が見事な三日月の形を描いて森と調和しているモンドル海辺は、南海ならではの趣を醸し出しています。防潮魚付林は高潮を防止し、魚をおびき寄せる役割を果たしています。



南海ヒーリングの森タウン

子供から大人まで多様な年齢層が一緒になって山林休養を楽しめるところで、美しい林道と多様な体験プログラムが体験できる山林の生態文化の空間だ。



ミュージアム南海&アートステイ

廃校をリフォームして生まれ変わった複合文化空間。視覚芸術、造形、設置など様々なジャンルの展示を開催し、レジデンス作家たちと共にする地域連携プログラムを実施する。野外には家族や子供たちのための水遊び場とオートキャンプ場が位置している。



昌善(チャンソン)・丹項(ダンハン) オオバクの木

昌善-三千浦大橋から単項方向に海辺に沿って走ると、自然に目が行くところがある。推定樹齢500年のオオバクの木で遠くから見ると、まるで小さな小山と錯覚を呼び起こすほど、その威風堂々とした姿と大自然の力に肅然としていることを感じる。星の王子さまにバオバブの木があれば、南海にはオオバクの木がある。

その他の観光スポット



ビオルヘ口

別海路はワラビの海を経験する旅路という意味で、南海を代表する林産物であるワラビをテーマにしている。韓国最大のワラビ山地である昌善面佳仁里一帯の異国的な趣が感じられる別海路に沿って上がれば、ワラビ模様の憩いの場が造成されており、ワラビの丘と海が調和した美しい景観を眺めることができる。



宝島乗馬ランド

朝鮮王朝時代の全域が牧場として設置された昌善島に造成された公共乗馬場。簡単には接しにくい馬と交感しながら様々な体験ができる。馬と一つになって円形馬場を回る乗馬体験や餌やりなどを専門教官の引率、教育の下で安全に楽しむことができる。



ラキビウム南海

ラキビウム南海は温かいお茶とベーカリーがある複合文化空間だ。LPミュージアムでは、MBC慶南で1968年から収集してきた数万枚のLP1千枚と図書を展示しており、様々な美術品やアーカイブの企画展示を行っている。



知足の竹防廉

竹の足を潮流が流れる方向と逆さに設置し、V字型に広げておく原始漁業である竹防廉は、時速13キロの南海の速い流速を利用した捕獲方式だ。竹防廉で獲れたカタクチイワシは、自然そのままの新鮮さが生きており、全国最商品に挙げられる。

その他の観光スポット



アメリカ村

南海でアメリカの小さな町に出会える。韓国に帰ってきて老後の生活を送ろうとする在米韓国人のために作られた村で、アメリカ式木材構造住宅で構成されている。鶯江(アングン)湾が見下ろせる町の入口には、メタセコイア道が造成されている。アメリカの伝統住宅を体験したいなら、ここにあるペンションを利用してみよう。

タル(お面)のすべて-
南海タル(お面) 公演博物館

2008年に廃校された丹草分校をリモデリングして造成したところで、国内演劇界の巨木である(故)キム・フンウ教授が寄贈した国内外で発刊された公演芸術関連資料と共に世界各国の仮面が展示されている。週末に随時公演と映像上映が行われる。



サチョン海水浴場



賑やかなよりはパステルトーンの夕暮れの風景を眺めながら、ゆっくりとした余裕を持つようとする恋人たちにさらに人気が高い。低い野山が海岸を囲んでいる浜辺に日暮れが始まると、湖のような海は一面夕焼けの色に染まる。最近では車泊とペット同伴が可能な海水浴場として知られている。



南海伝統市場

清浄な海で獲れた竹房カタクチイワシからアワビ、大正海老、身がふっくらとした太刀魚、南海の冷たい海風に吹かれて育った南海ニンニクと宝草(南海ほうれん草)、昌善(チャンソン)ワラビ、そして南海の自慢である南海の柚子と宝島韓牛まで。ここに新鮮な刺身まですぐに包装可能で、市場の内側にはグルメ通りが形成されている。

南海(ナムヘ)の祭り



5月

宝島弥助港(ポムルスム・ミジヨハン)カタクチイワシ祭り

「南海(ナムヘ)のナポリ」と呼ばれている弥助港は、カタクチイワシをはじめさまざまな海産物が水揚げされる場所として有名です。この祭りは、カタクチイワシが一番美味しいとされる5月に開催されています。カタクチイワシの競売会、カタクチイワシの塩辛作りなどの体験を楽しむことができるほか、1日2回行われる漁師の「カタクチイワシふるい」の様子を観ることもできます。また、祭りの会場ではカタクチイワシを使った料理を味わうこともできます。

6月

宝島ニンニク&韓牛祭り

南海を代表する特産物である宝島ニンニクと韓牛が味わえるお祭り。海風に吹かれて育ち、ほろ苦い香りの良い南海ニンニクと清浄環境で真心を込めて育てた南海韓牛を味わって楽しむことができる。



10月

ドイツ村ビール祭り

世界3大祭りであるドイツ・ミュンヘンのオクトーバーフェスト(Oktobertfest)を母胎として2010年秋から始まった祭りで、ドイツ派遣船夫と看護師が定着した異国的な南海ドイツ村で正統ドイツビールとソーセージを味わうことができる。ドイツ村の入口から広場のメインステージまで続くパレードをはじめ、様々なイベントが行われ、ビッグテントの中で行われる楽しい公演と共に、すべての参加者がフロスト(乾杯)を叫びながらビールを楽しむ。



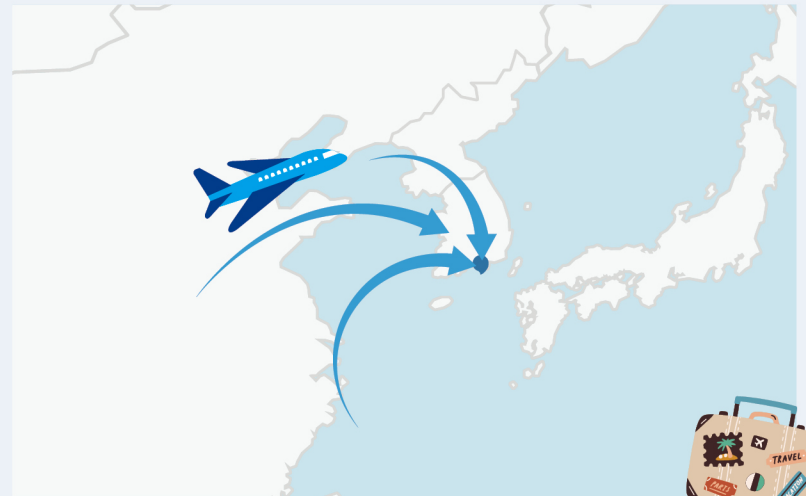
南海郡(ナムヘグン)観光文化財団



分りがたい場合がしばしばあるが、南海は島だ。

陸地から船に乗って来るべきだったこの場所に橋ができれば行き来しやすくなり

海に囲まれた南海に来る道はいつも美しく平和だ。



飛行機便

泗川(サチョン) 空港と麗水(ヨス) 空港がそれぞれ40分の距離にある。空港から南海まではレンタカーまたはカーシェアサービスを利用できる。

電車

KTXとSRTなどが通う順天駅と晋州駅が40分の距離にある。それぞれレンタカーまたはカーシェアサービスを利用すると、南海に簡単にアクセスでき、特に晋州(チンジュ)からは南海に来る市外バスがある。

バス便

ソウル、大田(テジョン)、釜山(プサン)、昌原(チャンウォン)、馬山(マサン)、晋州(チンジュ)から市外バスに乗れば、簡単に南海に来ることができる。

時間は少しかかるが、南海邑まですぐに来られ、きれいな風景が見られるという特徴。





自分を見つけることができる特別な場所、南海

南海の南海らしさが好き。

南海の魅力に溶け込む。

南海を旅する。



남해관광문화재단
NAMHAE FOUNDATION FOR TOURISM & CULTURE

本印刷物は環境にやさしい用紙と大豆の油インクを使用しております。